

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	令和元年度第2回和泉市子どもの読書活動推進協議会
開催日時	令和元年10月8日（火）16時から17時まで
開催場所	和泉市役所 3号館101会議室
出席者	<p>委員：（学識経験者）小前会長、（関係団体の代表）弓削委員、浅井委員、（子どもの読書活動に係る図書館ボランティア団体の代表）前山委員、（保育園長会代表）奥野委員、（幼稚園長会代表）福本委員、（小学校教育研究会図書館部会顧問）門林委員、（中学校教育研究会図書館教育部会顧問）長村副会長、（市内の支援学校図書館関係教職員）白間委員</p> <p>事務局：（生きがい健康部健康づくり推進室健康増進担当）藤原課長、（学校教育部指導室指導担当）水田主幹、（こども部こども未来室こども支援担当）濱田課長、（生涯学習課）米田係長、（読書振興課）中野課長、関戸課長補佐、西村主事、（和泉図書館）岩本館長、（シティプラザ図書館）小林館長、（にじのとしょかん）清水、（北部リージョンセンター図書室）鈴木室長、（南部リージョンセンター図書室）木村室長補佐</p> <p>【欠席】（学識経験者）大平委員、（市内の高等学校図書館関係教職員）伊藤委員</p>
会議の議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館を使った調べる学習コンクールの実施状況について 2. 「ぶっくんつうちょう」の実績について 3. 学校図書館と市立図書館の連携について 4. その他
会議の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館と市立図書館の連携会議」について、とりあげるテーマを考えながら、今後も続けてほしい。 ・学校等の各現場で、絵本貸出や本の読み聞かせなど子どもの読書活動の推進に取り組んでいる。 ・小学校では、来年度から新学習指導要領の完全実施となり、インプットしたものを自分で発表していけるようにならないといけないので、読書だけではなく、調べ学習も大事である。 ・読み聞かせのボランティアの方も、総合学習に応じた手法を取り入れており、読み手と聞き手のコミュニケーションが取れるような読み聞かせを行っている。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項 （会議の公開・非公開、傍聴人数等）	会議：公開 傍聴人：1人

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

【司会】

開会

以後、会長が進行

【会長】

6月に第1回和泉市子どもの読書活動推進協議会を開催し、第3次和泉市子どもの読書活動推進計画について、議論していただきました。本日は、その後の取組などの報告をいただきながら、皆様からのご意見を頂戴したいと思います。

それでは、議事に入ります。案件1「図書館を使った調べる学習コンクールの実施状況について」を、事務局より報告願います。

【事務局】

(案件1について、和泉図書館より報告)

【会長】

図書館の方から、「図書館を使った調べる学習コンクールの実施状況について」の説明がありました。和泉市立図書館では、平成28年度から地域コンクールを開催し、その中からより優れた作品を全国コンクールに送っているということで、今年が第4回目の開催となっているようです。これにつきまして、皆さま、何かご意見・ご質問等ございませんか。何もないようでしたら、私からお聞きします。全国コンクールに送るのは、いつ頃ですか。

【事務局】

10月7日が締切でしたので、先日の審査会で選ばれた上位2作品を既に送り、結果発表が来年の1月9日の予定です。全国コンクールの主催は、図書館振興財団です。

【会長】

全国コンクールのいい成果がでたら、励みになるかと思います。最近ではインターネットで情報を調べることが増えてきていますが、このように本を利用し、本とインターネットの情報を合わせて学習するという取組は大事だと思いますので、市立図書館と学校が連携しながら、継続してやっていただきたいと思います。

それでは、次に案件2「ぶっくんつうちょうの実績について」を、事務局より報告願います。

【事務局】

(案件2について、読書振興課より報告)

【会長】

昨年の11月から和泉市内の図書館に導入された「ぶっくんつうちょう」についての説明がありました。もう少しで導入されてから1年が経つということです。それでは、只今の報告について、何かご意見・ご質問等ございませんか。

何もございませんか。とりわけ、小学校低学年では、貸出の増加というのも見られますので、一つの動機付けになっているのかな、と思います。今後も「ぶっくんつうちょう」を活用して、子どもの読書活動の推進に努めていただきたいと思います。

それでは、次に案件3「学校図書館と市立図書館の連携について」を、事務局より報告願います。

【事務局】

(案件3について、読書振興課より報告)

【会長】

学校図書館と市立図書館の連携会議が、9月19日に開催されたということで、これは初めての取組ということです。お互いに連携していくために、担当者レベルでの話し合いがあったということで、実りのある会議になったようです。それでは、只今の報告について、何かご意見・ご質問等ございませんか。

【委員】

この会議は初めて開催されたのですね。この会議の中で、今後「うちどく」という目標以外に何か目標はありますか。

【事務局】

今回、初めて連携会議を行い、「うちどく」を進めていったらいいという話が出てきました。現在はまだ手探りの状態ですので、今後については、これからお互い意見を出し合って何かできないかな、というところです。もし、「こういういいものがあるよ。」ということがありましたら、是非この場でご意見を出していただいて、今後の連携会議において話し合っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員】

「うちどく」は、いい取組だと思っています。自動車文庫がなくなってから、小さい子どもがいる家庭では、市立図書館へ行くのに足が遠のいたりするんですが、小学校だと行きやすいと思います。地域の人に、もし小学校の図書室を開放してくれたら、行きやすくなると思います。また、素敵な「うちどく」を考えていただけたらいいな、と思います。

【会長】

ありがとうございます。学校の図書室で活動している支援司書の方々は、基本的に学校では一人だと思っていますので、こういう連携会議で担当者同士が実際に話すことによって、何か新しい取組や方向性を探りながら、続けていただきたいと思います。顔の見え

るコミュニケーションは大切だと思いますので、これからも継続していくよう、お願いいたします。他に何かございませんか。

【委員】

年に1～2回開催予定ということですが、半年に1回くらいだと忘れた頃にまた、ということになるので、例えば年に3回なら3回と決めて、テーマを決めて次の宿題みたいに残していく方が、いいと思う。

【事務局】

前回は初めての開催で、前回の会議が終わるときに、次回に何かご意見やご提案等あればお持ちください、という声かけをしているところですので、次の会議では活発な意見が出てくると思います。会議の開催日程等については、今後考えていきたいと思いません。

【委員】

「何かあれば」だとおそらく「何もない」ので、テーマを与えた方がいいと思う。

【会長】

今のご意見を参考に、学校図書館では何が一番重要か、などを考えながら会議の設定をされたらいいのかもしれませんが。まだ手探りの状態ということですので、委員の皆様からのご要望をあげていただいたら、事務局の方でできることは考えていただけたと思います。市立図書館と学校図書館がこの会議を通じて連携し合うということが大切だと思いますし、指導室の方も入っておられるので、学校図書館と指導室の連携も進むと思います。この件に関しては、他にございませんか。

次に案件4「その他」として、何かございませんか。それでは、10月になりまして今年度の半分が終わったわけですが、皆様の現場において、子どもの読書活動推進に関して、現状や課題などありましたら、ここで意見交換をさせていただきたいと思いません。よろしいでしょうか。それでは、保育園では、どうですか。

【委員】

うちの保育園では、保護者にクラスだよりで毎月絵本の紹介をしているので、コミュニケーションが家庭で図られていると思います。それと、今まではしていなかったのですが、毎日読んだ絵本を保護者に提示するようにしています。毎月1回の絵本貸出の際には、親子で一緒に絵本を選ぶことによって、コミュニケーションがとれるようにしています。

【会長】

絵本を通じて親子の絆を深めているということですね。それでは、幼稚園では、どうですか。

【委員】

幼稚園では、今年度も市から絵本購入の予算をいただいています。教師が子どもに読んでほしいと思う絵本を選んだり、子どもに人気のある絵本を複数買って、何人もの子どもが読むことができるようにしたりしています。新刊として買った絵本は、お話の部屋にすぐに置くのではなく、まずはクラスで子どもに紹介して読むようにしています。実際に子どもに読んでおもしろさを伝えていったことを、貸出日になると子どもが覚えていて、その絵本を借りに行く子どもが多くなったので、あらためて言葉で伝えることの大事さを実感いたしました。昨日もボランティアの「青い鳥」の方に来ていただいて、絵本の読み聞かせをしていただき、3～5歳の子どもがお話の世界に浸ることができました。子どもが楽しみに待っているのです、引き続きお願いしたいと思います。

【会長】

幼稚園での絵本の読み聞かせの状況を教えていただきました。絵本の読み聞かせをすると、子どもが関心を持って読書に繋がっていく、ということがよくわかりました。それでは、小学校では、どうですか。

【委員】

小学校では、どこの学校でも読書に触れる機会は、計画しています。本校の場合は、週間よりも期間が長くなるので、「読書旬間」という期間を設けたり、読み聞かせにボランティアの方に来ていただいたりしています。就学前の絵本の読み聞かせの経験も繋ぎながら、日常的には支援司書の方がいてくれるので、いろいろな企画もしてもらっています。隙間の時間に読書を取り入れることによって、比較的本を読むことに関してはスムーズに取り組んでいると思います。読書だけではなく、情報を取捨選択してまとめていくという調べ学習も大事です。小学校では、新学習指導要領も来年度から完全実施になります。「主体的・対話的で深い学び」ということになると、インプットしたものを、どうアウトプットしていくか、ということで、自分で発表していけるようにならないといけない。先ほどの調べる学習コンクールなどもあります。日常的にも調べ学習をしながら、学びに学校図書館を活用していくということは、必要なことだと思います。そういう点では、資料不足ということは否めないところで、なかなか一つの学校だけでは難しい部分がありますので、そういう点では市立図書館にもお世話になりながら、連携をとっていきたいと思います。

【会長】

小学校の方から、読書支援についてのお話がありました。読み聞かせもそうですし、調べ学習や探求学習を含めた読書活動の推進をよろしく願いいたします。それでは、中学校では、どうですか。

【委員】

中学生になりますと、図書館員の方などのお力をお借りしながら、生徒が幼稚園や保育園の子どもと一緒に本を読むという取組もしています。本校では、生徒集会で図書委員会が活動の報告をする時に、委員長がおすすめの本を何冊も紹介しています。もう少

し頑張ればビブリオバトルができるのではないかと思います。ビブリオバトルは、一つのゲームと言いますか、書評合戦になっているんですが、あれで本を紹介するというのは、自分がインプットした本の内容をどう伝えていくか、ということで、表現力の鍛錬にもなるのでとてもいいと思います。ビブリオバトルをするということではなくて、おすすめの本を紹介する活動がもっと増えていけばいいのかな、と思います。また、ほとんどの中学校では、朝は読書の時間を設けています。子どもは、自分の好きな本を読書の時間には静かに読んでいます。そういう時に本を読むというだけではなく、図書委員がおすすめの本を紹介していくのもいいのではないかと、思います。調べる学習について、少しずつ広がっていて大変嬉しく思います。野望を言いますと、小学生と中学生に夏休みの宿題にするのが理想かと思いますが、現実的には子どもは夏休みには忙しいので、そこまでは負担が大きいものもあり、例えばですが、科学展の自由研究か図書館を使った調べる学習のどちらかを選んでしよう、というような宿題の出し方もあればいいな、と思います。実際には、学校現場で先生方の考えもあり難しいところもありますが、そのような形で少しずつ広げていけたらいいな、と感じています。

【会長】

中学生は受験もあつたり忙しいところですが、自分たちでおすすめの本を紹介し、それに他の子も関心を寄せる、ということは、表現力もつき非常にいいことですので、このような取組を広げていただきたいと思います。調べ学習も中学生になるといろいろな関心もあると思いますので、またそれについてもよろしくお願ひいたします。それでは、支援学校では、どうですか。

【委員】

支援学校では、児童と生徒の増加に伴い、学校図書館が移動になりました。前にあったところよりも奥まったところになり、広さも狭くなってしまったので、なかなか行きにくくなってしまいましたが、プリントで開放日をお知らせしたり、読書週間を設けて開放しています。生徒から希望を聞いて新しい本を購入したりもしています。ただ、支援学校は基本的に体力づくりや自立活動がメインになるので、なかなか図書館に行くことができないんですが、授業の学期末のお楽しみとして図書館に行き、自分の好きな本を読んだりという時間もあります。図書館を毎日開放するのはできないので、開放日をお知らせして、利用できるようにしています。

【会長】

移動になって狭く奥まったところになってしまったということですが、新しい場所になれば、心機一転、また新しい取組などをしていただけたらありがたいと思います。

それでは、先ほどから学校の方からもお世話になっていると言われておりました、ボランティア代表、いかがですか。

【委員】

先ほど先生からお話があった新学習指導要領の実施に向けて、今までの読み聞かせではなく、違う読み聞かせをしてほしい、という小学校があり、どんなことをしたらいい

のか尋ねたら、何かをしてほしいという課題はなく、例えば絵本の読み聞かせをしている時に、普段使わない言葉が出てきた場合、「これはどんなことだったと思う？」と聞いてもらって、その時に子どもがどんな返事をするか、というように、読み手と聞き手のコミュニケーションをとってほしい、ということをお願いされました。ボランティアのメンバーで、45分間の枠での配分を決めたり、どの絵本を読むのか、などかなり悩みましたし、読み聞かせをした後に、子どもに「楽しかった？おもしろかった？」は、聞かないようにしよう、などと考えていました。結果は、今までに行っている学校でしたので、子どもの方から自然に話をしてくれて、とても楽しんでくれ、先生や担任方からも、好評でした。私たちが昔話の本を持っていき読み聞かせをしたところ、その学校に昔話の本がなかったので、支援司書さんが購入してくれたというお話も聞いて、私たちが行くことによって、子どもにまた次の世界が広がっていくんだな、ということを感じました。また、他の学校で昔話を読んだ時に、知っている昔話を子どもに尋ねたら、「赤ずきん」「みにくいあひるの子」と外国のお話ばかりがでてきたので、日本の昔話を知っているか尋ねたら、「かぐや姫」が多かったんです。なぜかというと、auのCMで知っているということでした。ですから、今のお母さん方は、読み聞かせをしても、伝承話などのお話は読んでいないようですので、できればそういう昔話も読んであげてほしいです。そして、私は「したきりすずめ」の読み聞かせをしたのですが、お話を知らなかった子どもも多かったので、「何ですずめが糊を食べるのか？」というようなことを「何でかな？」と総合学習ではもっていきな、というようなことも子どもから勉強させてもらいました。そして、南池田中学校の希望があった生徒に、この夏休み、初めての経験をしてもらいました。保育園の園児へ絵本の読み聞かせをするためにあらかじめ数回集まり、どの絵本を読むのかを一緒に選んだり、プログラムを立てたりしました。結果は、保育園の園児も静かにお話を聞いてくれ、喜んでくれたようです。

【会長】

総合学習と関わる活動については、事例を積み上げていっていただきたいと思います。中学生が保育園の園児に読み聞かせをするのもいいですね。行っている中学生も楽しんでいただけたらいいかと思います。それでは、PTA協議会の代表、いかがですか。

【委員】

うちの子が野坂昭如さんの小説を持っていたので、なぜ野坂昭如さんの小説を選んだのかを聞いてみると、小学校の時に観た映画「火垂るの墓」の作者ということを知り、何かのきっかけで知ったからということでした。それこそ、先ほどの「かぐや姫」の話と同じように、まずビジュアルから入ってきて、そのことが頭に残っていて、何かのきっかけから作者を知って、読み始めたらおもしろかった、ということがあります。うちの子は、小さい頃から本をほとんど読まなかったんですが、小学3年生の頃にはゲームの攻略本を真剣に読んでいました。ゲームとか映画とかビジュアルで見ているものが印象に残っていて、そこから文章や文字に変わったりする時が来るような気がしています。子どもの時にいろいろなものを見せてあげるのと同時に、読み聞かせをしてあげ、そしてある程度時間が経った時に、「この原作本はこれだよ。」というのを紹介してあげることでもいいと思います。

【会長】

子どもの頃は、映画やアニメの影響が大きいかと思いますので、きっかけとして今言われたことは大切だと思います。それでは、子育てサークルネットワーク推進協議会代表、いかがですか。

【委員】

ネットワーク推進協議会としては、年に2回ですが子どもを連れてファミリーで接しましょう、という機会があります。私たちの活動は、子どもとコミュニケーションをとりながら、人形劇や子ども向けのお芝居などを提供していますが、そこに絵本を入れていきたいと思っています。人形劇には、絵本を題材にした脚本が多いので、繋がっていると思います。劇団の人にも、この絵本を元に作ったというような紹介をしてもらったりしています。そういう観点で、絵本を選んでいけたらいいな、とも思いました。逆に、絵本を読んでいて、それを人形劇でするということもあります。

【会長】

子どもにとっても、絵本があって、人形劇があって、ということであれば、よりいいことだと思います。皆様からいろいろとお話を伺って、様々な読書を巡る状況というものが見えてきたかと思います。他に何かございませんか。

【委員】

「ぶっくんつうちょう」のところに年齢別の利用人数が載っていますが、小学校低学年、高学年、中学生がどんなジャンルの本をよく読んでいるのか、わかれば教えていただきたい。低学年の子どもも、絵本ばかりではないと思うので、読み物も読んでいるのか、などが知りたいです。

【事務局】

絵本というよりも、読み物の方に人気があり、アニメが多いと思います。あとは、科学系の漫画も人気があります。

【委員】

そうですね。それも1冊とすれば1冊なので、やはりこの数字だけでは図れない、と思いました。

【会長】

読書の全体の動きも参考にしながら、ということでよろしく願いいたします。

第3次和泉市子どもの読書活動推進計画が3月にできまして、市立図書館と学校図書館との連携会議も始まり、いろいろと動いてもらっています。今後とも、第3次計画に基づきまして、和泉市の子どもの読書活動がより豊かになるように推進していただけるよう、お願いしておきます。

他に何かございませんか。何も無いようですので、本日の議事を終了させていただきます

ます。

《閉会》